

牧小だより



心ゆたかに たくましく 生きぬく子



50年の節目(9.12 安八豪雨災害を教訓として)

校長 古川 正浩

夏休みも終わりを迎え、気持ちも新たに学校が始まります。PTAや地域の皆様のご理解とご協力をいただき、大きな事故や事件もなく無事に過ごすことができました。ありがとうございます。これからも、児童の安心・安全のためにご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

この夏休みには、2026 熊本地震・8月の千葉豪雨と大きな災害が今年もありました。今年で 50 年目の節目を迎える「安八豪雨災害」について改めて振り返り、今の自分たちの生活を見直すことが重要であると痛感しています。50年前のつらい思いを今の平和で安全な社会で生きる私たちには、はかり知ることができないことが多く、実体験をされた方の思いや気持ちをしっかりと受け止めたいと願い、地域にお住いの方からお話を聞く機会を位置付けることとしました。9月11日(金)にご来校いただき、その当時の様子や思いなどを語っていただき、自分たちの生活に生かしていきたいと思ひます。

牧小学校では、毎月のように「命を守る訓練」を実施し、地震による火災からの避難訓練・教室以外からの避難訓練・初期消火訓練・垂直避難訓練・不審者対応訓練などに全校で取り組んでいます。この 9 月には、煙中避難訓練の体験を計画しており、「命を守る」ための行動ができるよう取り組みます。

命を守る考えとして「自分でできることは自分で行う(自助)」、「地域や近隣住民同士で助け合う(共助)」、「行政による支援(公助)」の考えが重要です。まずは、「自分の命を守る」ための行動をすることの大切さを指導しています。次に友達・仲間を助ける行動をすること。これは、判断が難しいことではありますが、自分の身の安全を第一に考えながら、友達・仲間へ声をかけ、配慮することだと思います。実際の場面では、大人に状況を伝え、助けを呼ぶ行動が現実的であると考えています。家庭では、高齢者の方や独居の方の存在を認識し、大人に助けを願うことや手を引いて一緒に避難することにつながるのだと考えます。最後に公助として用意されている避難場所へ向かうこと。家族で確認している避難場所に行き、救助を待つことが大切だと思います。

この機会を大切に、家族・地域・学校が様々な場面を想定し、行動できる人づくりをしていきたいと考えておりますので、何卒ご理解・ご協力を頂きますようお願いいたします。

確認いただけるとよいことは、・避難場所(一次避難・二次避難) ・家族との連絡方法 ・避難時の持ち物 ・避難時の避難経路 ・避難方法(手段) ・高齢者・独居の方の所在と避難支援方法 などです。このようなことを想定したシミュレーションをしていただければ幸いです。



9.12 安八豪雨災害

実りを育む今(自分に自信をつける小学校生活)

「自分の言葉で語れる児童」を目標に児童の育成に力を入れて取り組んでいます。授業では、「こんな考え方・見方をしてみよう」や「仲間とつないで話そう」の見本を参考に発言をするための下地作りに取り組んでいます。(**「学校だより」6月号にて紹介**)

また、自分に自信をもてるよう、自己有用感をもてるように「チャレンジ宣言」・「学級チャレンジ宣言」に取り組み、今年で3年目になります。学校では、このような取組を行い、「自分の言葉で語れる」よう、主体的に取り組める児童の育成に力を入れてまいりますので、ご家庭・地域でも児童の主体性を尊重した場面づくりにご協力いただけますようお願いいたします。



運動会・校区民運動会等ご案内とご協力のお願い

児童たちは、家族や保護者、地域の皆様のご協力とご支援の下、安心・安全に過ごすことができいております。ありがとうございます。今年度は、10月24日(土)の午前中に小学校運動会を計画しています。児童の明るく元気に学んでいる姿を見ていただけたらと思います。また、午後には、校区民運動会が予定され、地域で生きる子供たちが、つながりを深める機会でもあります。楽しく親交を深める会となしてほしいと願っています。

運動会に向けて校舎内外の整備をPTAで10月17日(土)に、親子学校美化作業として予定しています。ご協力のほどよろしくお願いいたします。